

## 授業科目

## 臨床検査総論実習I

担当教員名 長濱 大輔	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		○

## 授業の概要

臨床検査総論の大部分を占める一般検査は、定性・半定量検査を主としたスクリーニング検査である。現在、尿検査のほとんどが簡便な試験紙法で行われている。検査の臨床的意義の把握は勿論のこと、操作法の習得、原理、測定上の注意点、感度、特異度等についても理解を深める。

## 授業の目的

採血法を始め、多くの尿検査法、腎機能検査の実技(実際)を通じて、その臨床的意義・原理の把握を確実に習得する。そして、症例検討を経験しながら一般検査結果の評価能力を高める。

## 学習目標

1. 採血の方法や注意点を説明できる。
2. 各種の尿検査の実際とその原理、そして臨床的意義について説明できる。
3. 腎機能検査法の種類、方法・原理・臨床的意義について説明できる。
4. 一般検査結果の解釈について説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1、2	採血法と検体の取り扱い方法	実習	長濱 大輔
3、4	尿コントロール液(人工尿)の作製	実習	長濱 大輔
5、6	尿試験紙の特徴、使用方法と注意点	実習	長濱 大輔
7、8	尿の性状と物理的検査	実習	長濱 大輔
9、10	尿タンパク定性・半定量・定量検査	実習	長濱 大輔
11、12	尿糖定性・半定量・定量検査	実習	長濱 大輔
13、14	尿ケトン体・ビリルビン・ウロビリノゲンの定性・半定量検査	実習	長濱 大輔
15、16	血尿の証明法(潜血反応と尿沈渣中赤血球)	実習	長濱 大輔
17、18	BJPの定性試験、微量アルブミン定性・半定量検査	実習	長濱 大輔
19、20	腎機能検査、尿中薬剤性物質	実習	長濱 大輔
21、22	症例検討(一般検査データの評価)	実習	長濱 大輔
23	実技まとめ	実習	長濱 大輔

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	最新臨床検査学講座 一般検査学	宿谷 賢一、三村 邦裕 他	医歯薬出版株式会社	2016年		
参考書	尿検査 その知識と病態の考え方	河合 忠、浅野 泰、伊藤 善久	メディカル・ジャーナル社	1992年	2,427円	
	標準臨床検査学 臨床検査総論	伊藤機一、松尾収二	(株)医学書院	2013年	3,000円	
その他の資料						

## 評価方法

- レポート (10%)  
定期試験 (90%)

## 履修上の留意点

臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるまで繰り返し行うこと。

## オフィスアワー・連絡先

nagahama@nuhw.ac.jp